

第50回 荒川区政世論調査

「概要版」

荒川区では、区民の皆様のご意見やご要望を区政に反映するため、毎年、区政世論調査を実施しています。この調査によって得られた結果は、適切に把握・分析した上で、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。併せて多くの皆様に参考にしていただければ幸いです。

調査の実施に当たり、ご協力くださいました区民並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

荒川区区政広報部秘書課

◆調査の概要

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ◆ 調査対象 区内在住の満18歳以上の個人 | ◆ 配布方法 郵送配布 |
| ◆ 対象者数 3,000人 | ◆ 回収方法 郵送またはインターネットによる回収 |
| ◆ 抽出方法 層化2段階無作為抽出 | ◆ 有効回収数（率） 1,552件（51.7%） |
| ◆ 調査期間 令和7年8月30日～9月30日 | |

◆調査内容と主な調査結果

【居住と生活環境】住み続けたいと回答した方は8割半ばを超えている。

【広報活動】区政に関する情報の入手方法について、「あらかわ区報」と回答した方が5割近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」が2割である。

【荒川区の魅力】荒川区の魅力を感じているものについて、「交通の便」が6割強で最も高く、次いで「都電」が4割近くとなっている。

【防災対策】災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」と回答した方は6割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期保存用食料等を備蓄している」が3割となっている。

【地域とのつながり・暮らし】地域の行事や活動に参加している方は3割近くとなっている。そのうち、どのようなものに参加しているか聞いたところ、「お祭りなどの地域の催し」が約7割で最も高く、次いで「町会・自治会の活動」が4割強となっている。

【人権意識】今の社会は人権が守られているかについて、「十分守られている」（15.2%）と「十分ではないが守られている」（59.2%）を合わせた《守られている》（74.4%）の割合は7割を超えている。

【区政への関心と要望】区政への関心度は、関心があると回答した方が約6割である。

◆概要版の見方

- ✧ 図中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。
- ✧ 小数点第2位を四捨五入したため、回答率を合計しても100%にならないものもあります。
- ✧ 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数としたため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- ✧ 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によって語句を簡略化してあります。
- ✧ ライフステージは、以下の定義に従って区分しています。
 - ・家族形成期 : 「39歳以下で同居している子どものいない夫婦」または「同居している一番上の子どもが小学校入学前」
 - ・家族成長前期 : 「同居している一番上の子どもが小・中学生」
 - ・家族成長後期 : 「同居している一番上の子どもが高校・大学生」
 - ・家族成熟期 : 「64歳以下で同居している一番上の子どもが学校卒業」
 - ・高齢期 : 「65歳以上で同居している一番上の子どもが学校卒業」または「65歳以上で同居している子どもはいない」
 - ・高齢期(一人暮らし) : 「65歳以上で一人暮らし」
 - ・一人暮らし : 「64歳以下で一人暮らし」

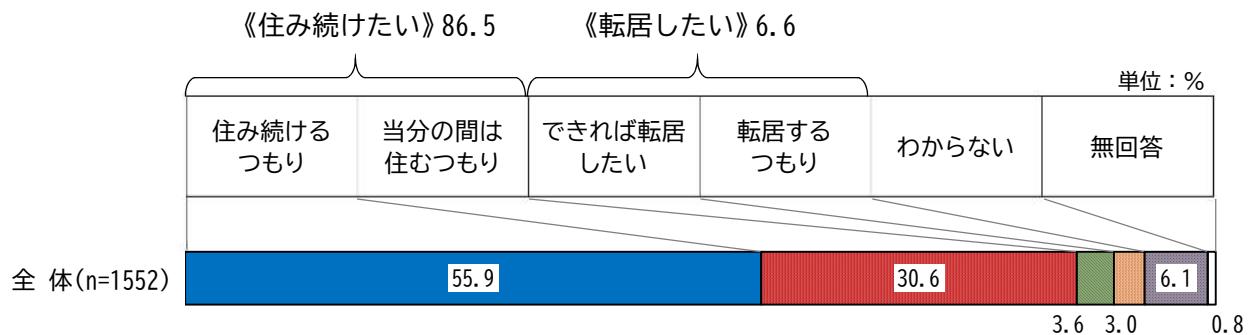
この概要版は、荒川区政世論調査報告書を抜粋し、まとめたものです。報告書全文は、区役所地下1階の情報提供コーナーや各区立図書館、荒川区ホームページでご覧いただけます。

(荒川区ホームページアドレス <https://www.city.arakawa.tokyo.jp>)

1. 居住と生活環境 【継続調査項目】

設問：これからも荒川区にお住まいになりますか。 (回答は1つ)

「住み続けるつもり」(55.9%) と「当分の間は住むつもり」(30.6%) を合わせた《住み続けたい》の割合が8割半ば(86.5%)を超えている。



※令和2年度調査

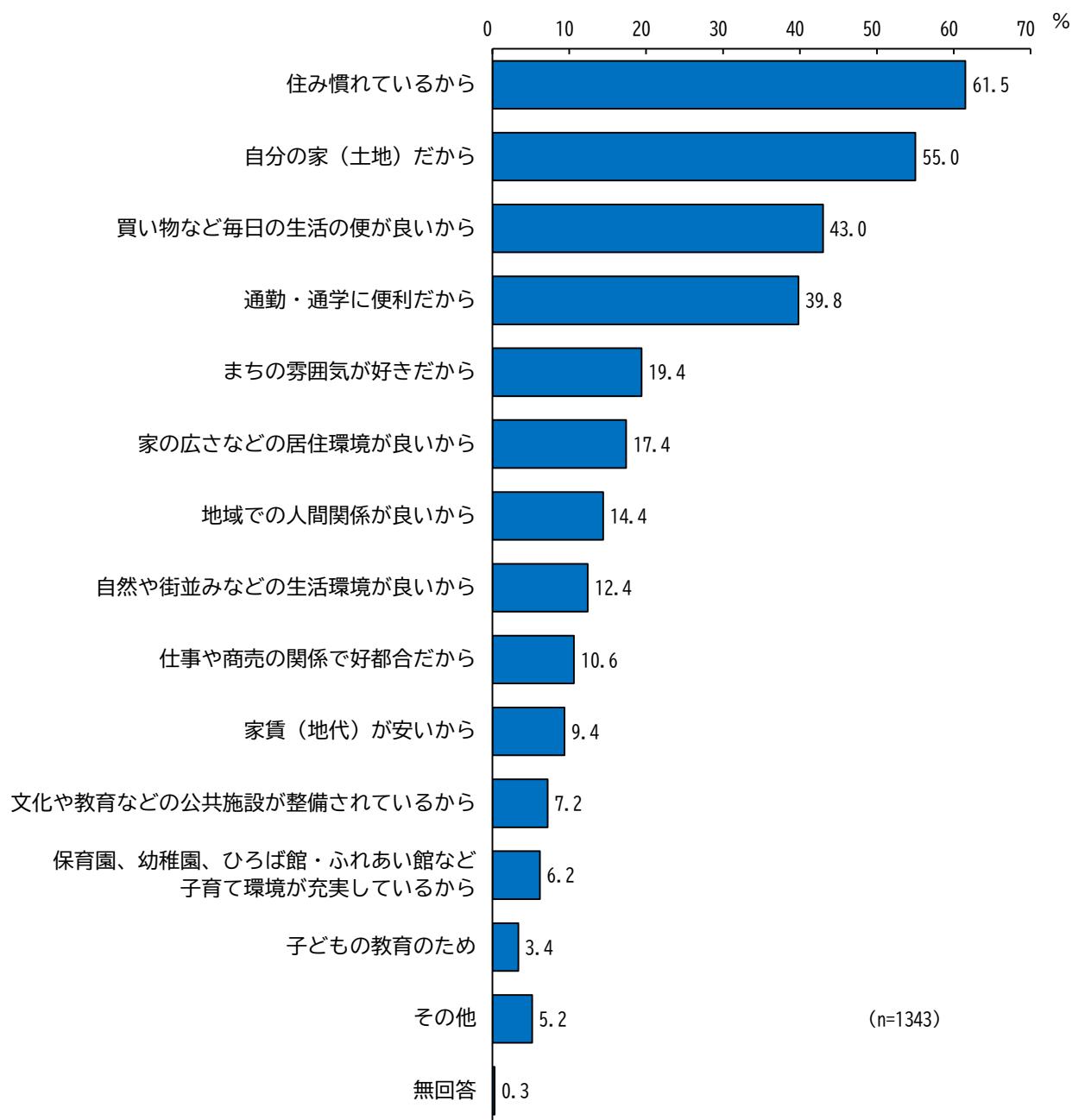
《住み続けたい》	住み続けるつもり	59.7	87.5
	当分の間は住むつもり	27.8	
《転居したい》	できれば転居したい	2.7	5.7
	転居するつもり	3.0	

※平成27年度調査

《住み続けたい》	住み続けるつもり	60.5	88.8
	当分の間は住むつもり	28.3	
《転居したい》	できれば転居したい	2.4	5.3
	転居するつもり	2.9	

設問：《住み続けたいとお答えの方に》その主な理由は何ですか。（回答はいくつでも）

「住み慣れているから」(61.5%)が6割強と最も高く、次いで「自分の家（土地）だから」(55.0%)、「買い物など毎日の生活の便が良いから」(43.0%)、「通勤・通学に便利だから」(39.8%)が比較的高くなっている。



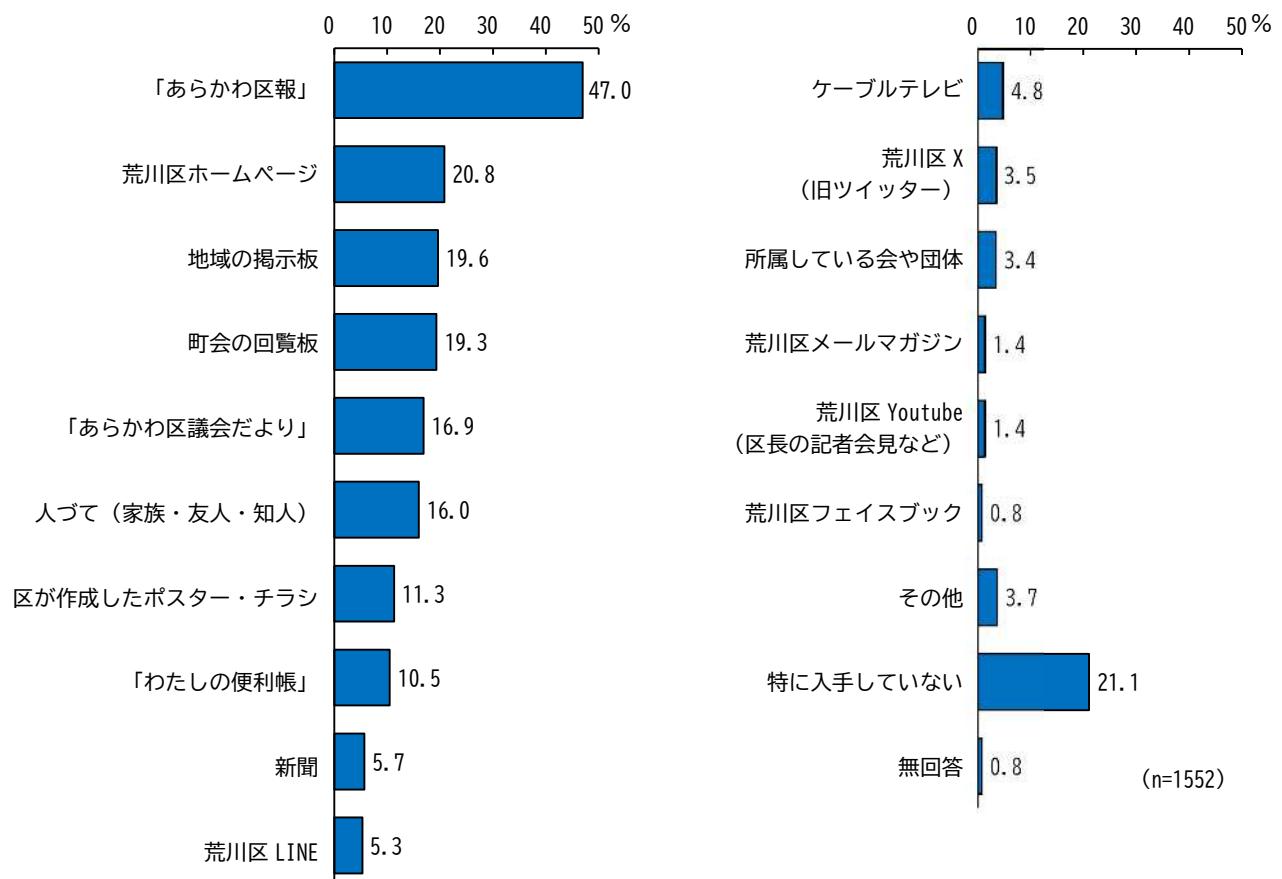
※昨年度調査（上位5項目）

住み慣れているから	61.3
自分の家（土地）だから	53.6
買い物など毎日の生活の便が良いから	42.6
通勤・通学に便利だから	38.0
まちの雰囲気が好きだから	17.8

2. 広報活動 【各部調査項目】

設問：区政に関する情報は、どのようにして入手していますか。（回答はいくつでも）

「あらかわ区報」(47.0%) が5割近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」(20.8%) となっている。



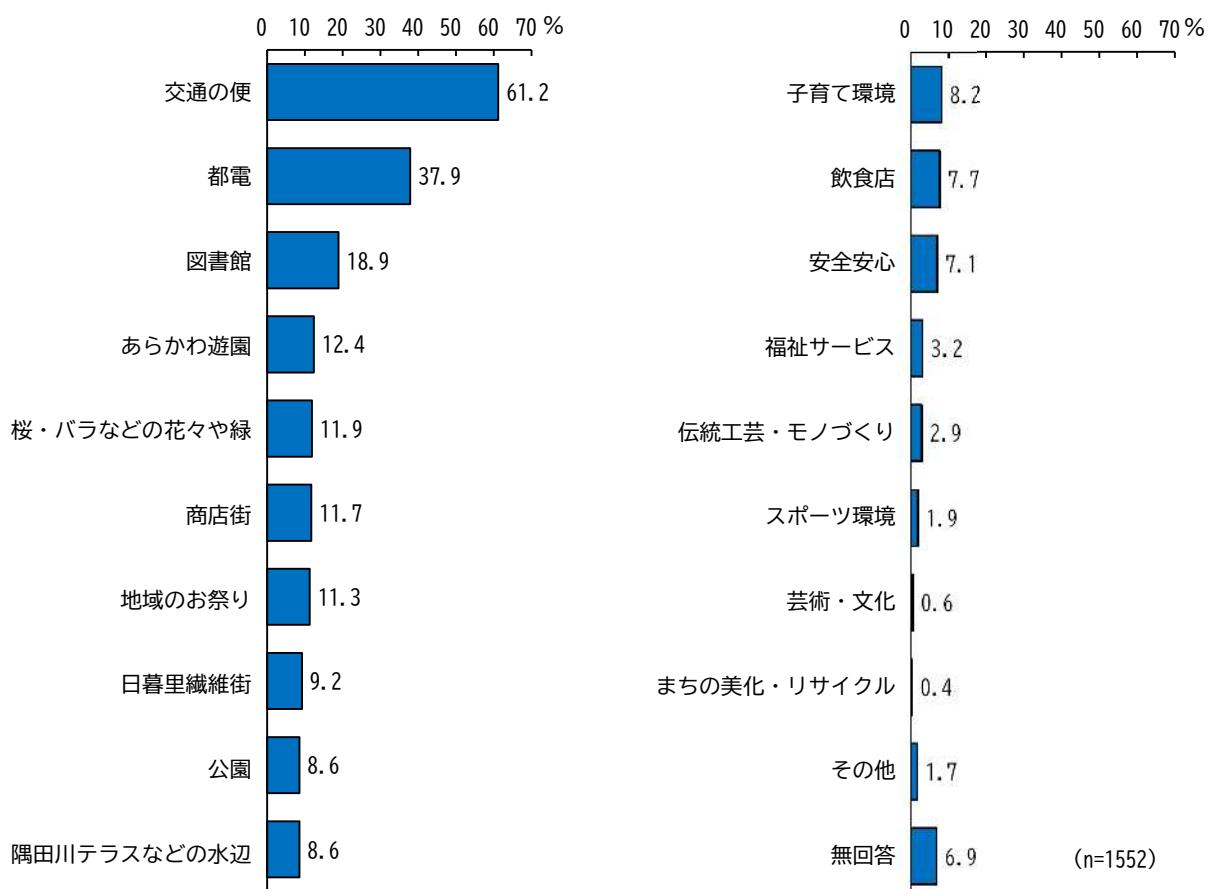
※令和4年度調査（上位5項目）

「あらかわ区報」	53.5
荒川区ホームページ	20.5
町会の回覧板	19.1
地域の掲示板	18.6
「あらかわ区議会だより」	17.1

3. 荒川区の魅力 【各部調査項目】

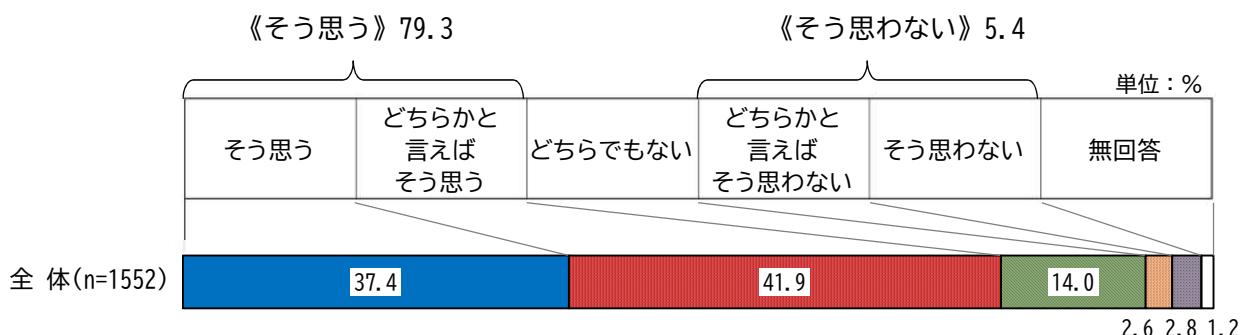
設問：荒川区の魅力を感じているものを、次の中からお選びください。(回答は3つまで)

「交通の便」(61.2%)が6割強と最も高く、次いで「都電」(37.9%)が4割近くで高くなっている。



設問：荒川区に愛着を感じていますか。(回答は1つだけ)

「そう思う」(37.4%)と「どちらかと言えばそう思う」(41.9%)を合わせた《そう思う》(79.3%)の割合が約8割と高い割合を示している。

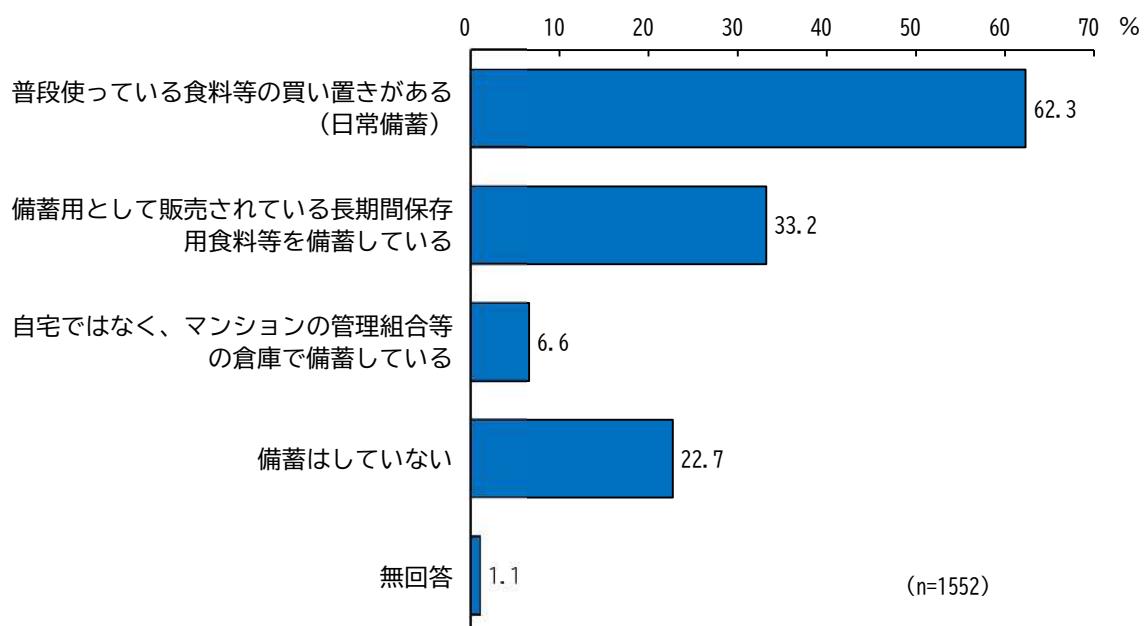


4. 防災対策 【各部調査項目】

設問：災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。

(回答は「備蓄はしていない」以外はいくつでも)

「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」（62.3%）が6割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」（33.2%）が3割となっている。

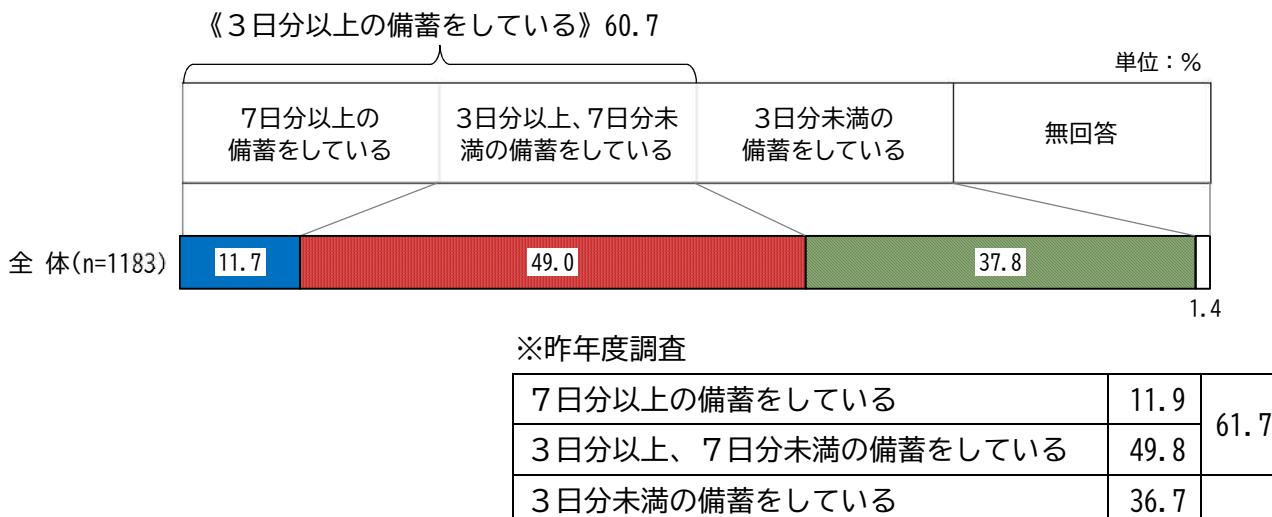


※昨年度調査

普段使っている食料等を多めに購入しておくようにしている（日常備蓄）	64.5
備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	34.0
自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	5.7
備蓄はしていない	19.6

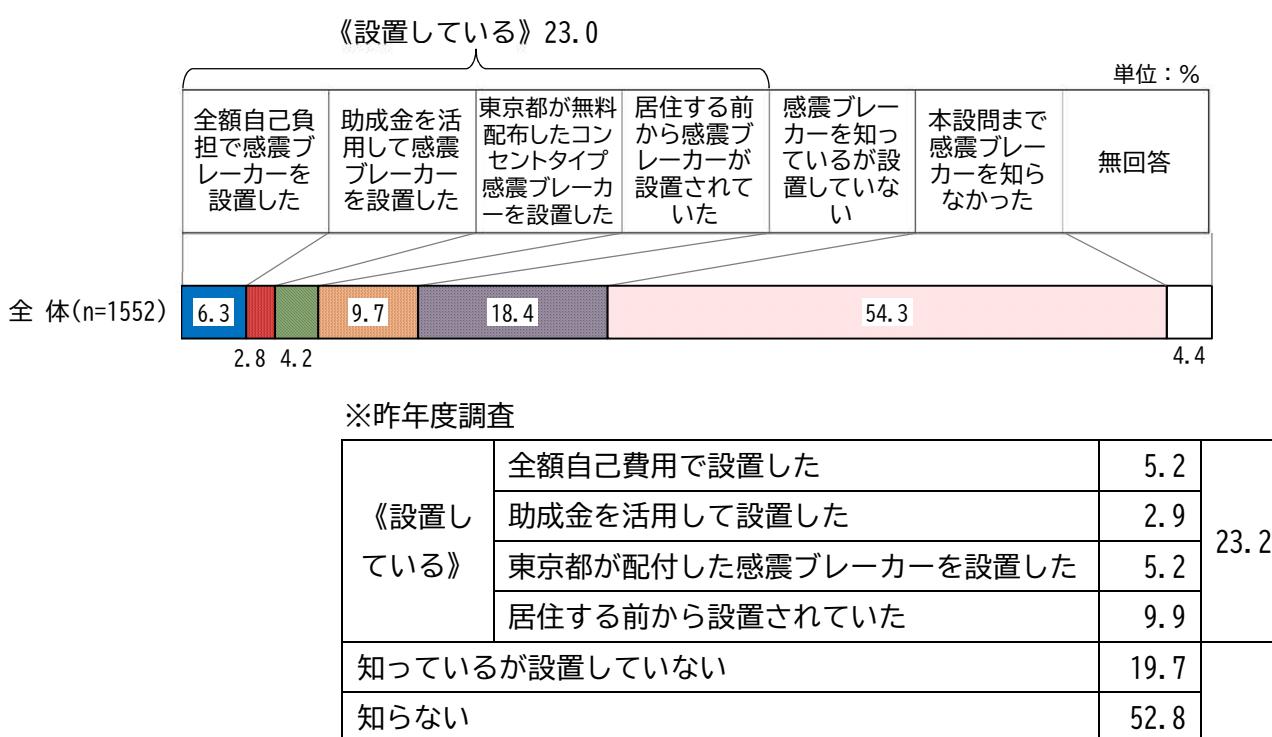
設問：《備蓄をしているとお答えの方に》何日分の備蓄をしていますか。（回答は1つ）

「7日分以上の備蓄をしている」(11.7%) と「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」(49.0%) を合わせた《3日分以上の備蓄をしている》(60.7%) は6割強となっている。



設問：地震発生時の通電火災を防ぐために、強い揺れを感じた時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。(回答は1つ)

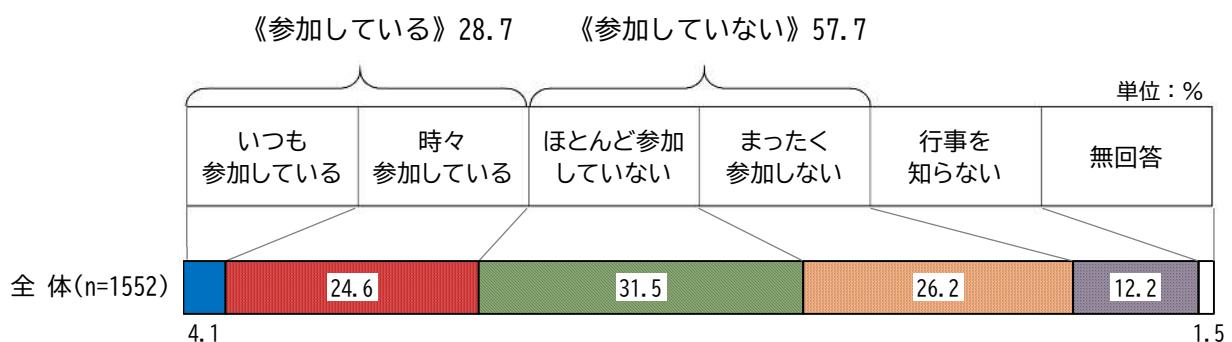
「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」(6.3%) と「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」(2.8%) と「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」(4.2%) と「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」(9.7%) を合わせた《設置している》(23.0%) は2割強となっている。「感震ブレーカーを知っているが設置していない」(18.4%) は2割近くで、「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」(54.3%) が5割を占める。



5. 地域とのつながり・暮らし 【各部調査項目】

設問：あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。（回答は1つ）

「いつも参加している」(4.1%)と「時々参加している」(24.6%)を合わせた《参加している》(28.7%)は3割近くとなっている。一方、「ほとんど参加していない」(31.5%)と「まったく参加しない」(26.2%)を合わせた《参加していない》(57.7%)は6割近くとなっている。

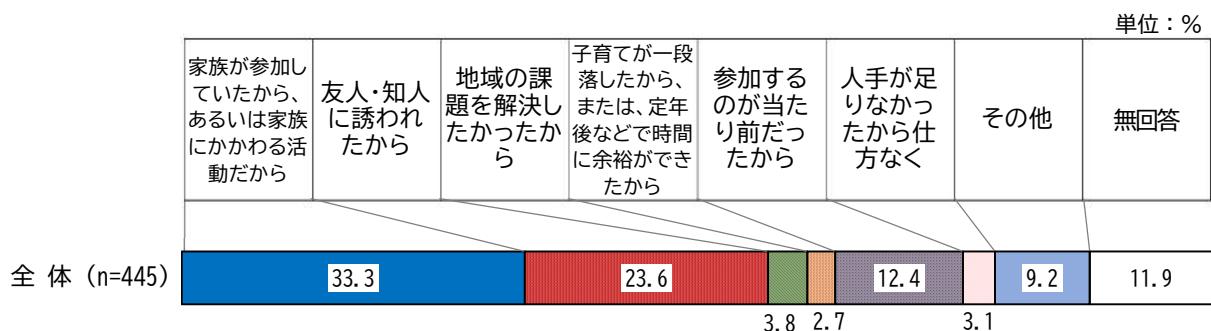


※昨年度調査

《参加している》	いつも参加している	5.0	31.4
	時々参加している	26.4	
《参加していない》	ほとんど参加していない	33.7	54.4
	まったく参加しない	20.7	

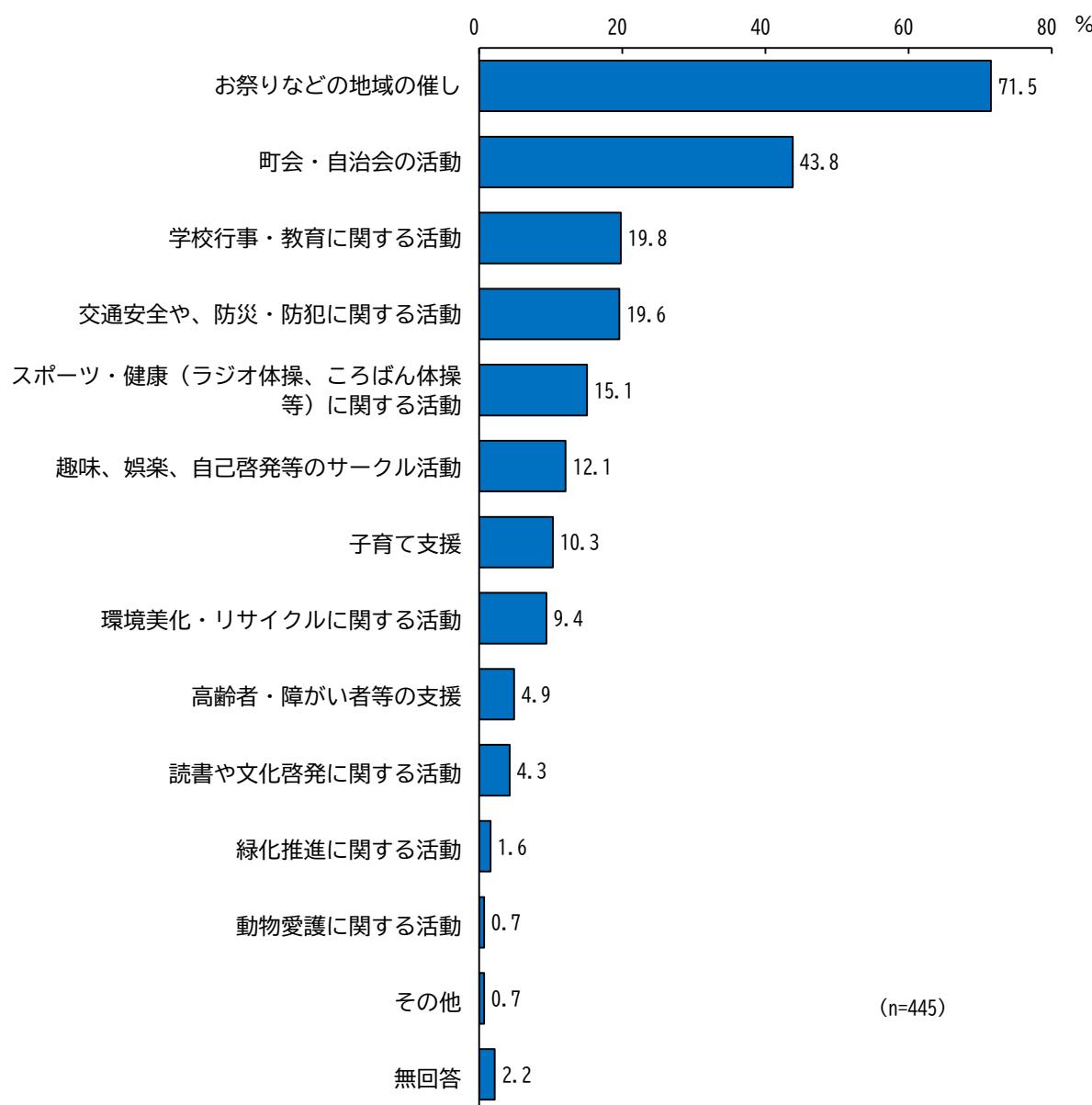
設問：《参加しているとお答えの方に》あなたが地域の行事や活動に参加するようになったきっかけはどのようなものでしたか。（回答は1つ）

「家族が参加していたから、あるいは家族にかかわる活動だから」(33.3%)が約3割と最も高く、以下、「友人・知人に誘われたから」(23.6%)、「参加するのが当たり前だったから」(12.4%)が続いている。



設問：《参加しているとお答えの方に》次のうち、どのようなものに参加していますか。（回答はいくつでも）

「お祭りなどの地域の催し」(71.5%) が約7割と最も高く、次いで「町会・自治会の活動」(43.8%) が4割強となっている。



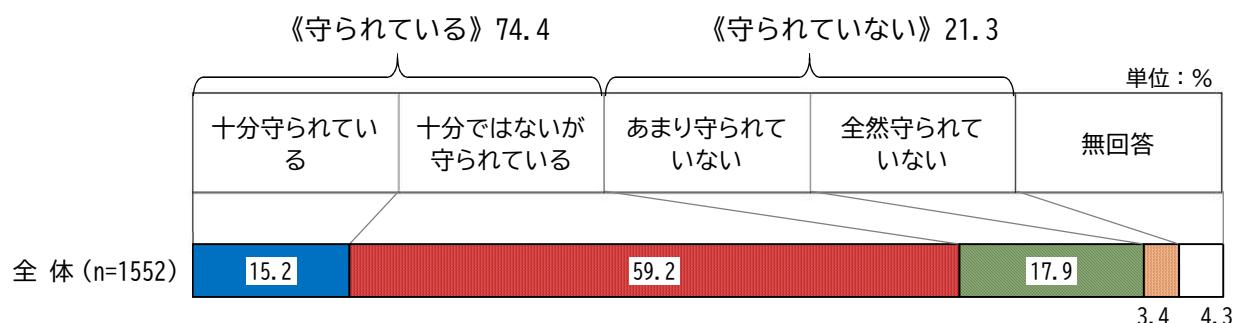
※昨年度調査（上位5項目）

お祭りなどの地域の催し	72.8
町会・自治会の活動	43.4
交通安全や、防災・防犯に関する活動	19.6
スポーツ・健康に関する活動	18.7
学校行事・教育に関する活動	18.0

6. 人権意識 【各部調査項目】

設問：あなたは、今の社会は人権が守られていると思いますか。（回答は1つ）

「十分守られている」（15.2%）と「十分ではないが守られている」（59.2%）を合わせた《守られている》（74.4%）の割合は7割を超えている。

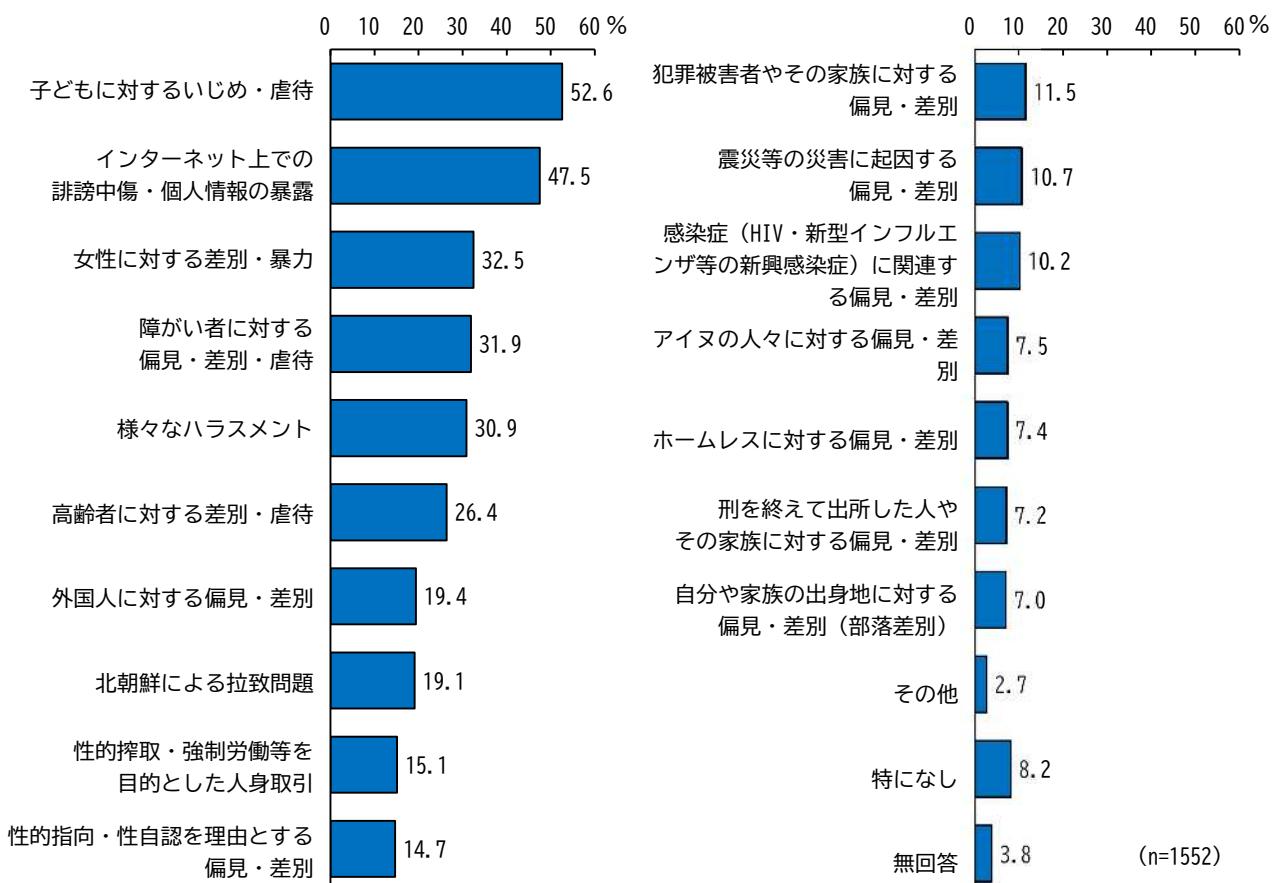


※令和5年度調査

《守られている》	十分守られている	12.1	76.7
	十分ではないが守られている	64.6	
《守られていない》	あまり守られていない	17.0	19.1
	全然守られていない	2.1	

設問：あなたが、関心があり、解消に向けて取り組むべきと考える人権問題は何ですか。
 (回答はいくつでも)

「子どもに対するいじめ・虐待」(52.6%) が5割強と最も高く、次いで「インターネット上の誹謗中傷・個人情報の暴露」(47.5%) が5割近くで高くなっている。



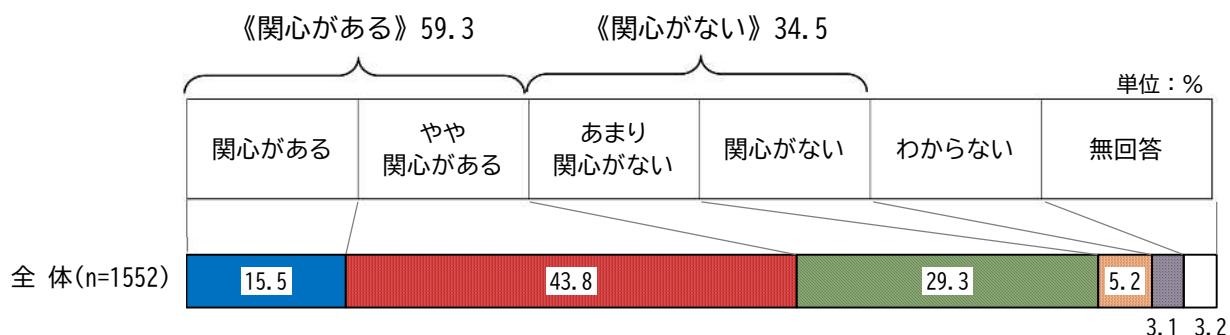
※令和5年度調査（上位5項目）

子どもに対するいじめ・虐待	63.7
インターネット上の誹謗中傷・個人情報の暴露	63.1
障がい者に対する偏見・差別・虐待	43.4
女性に対する差別・暴力	38.5
高齢者に対する差別・虐待	37.7

7. 区政への関心と要望 【継続調査項目】

設問：あなたは、区政にどの程度関心がありますか。（回答は1つ）

「関心がある」（15.5%）と「やや関心がある」（43.8%）を合わせた《関心がある》（59.3%）は約6割、一方、「あまり関心がない」（29.3%）と「関心がない」（5.2%）を合わせた《関心がない》（34.5%）は3割半ば近くとなっている。



※令和2年度調査

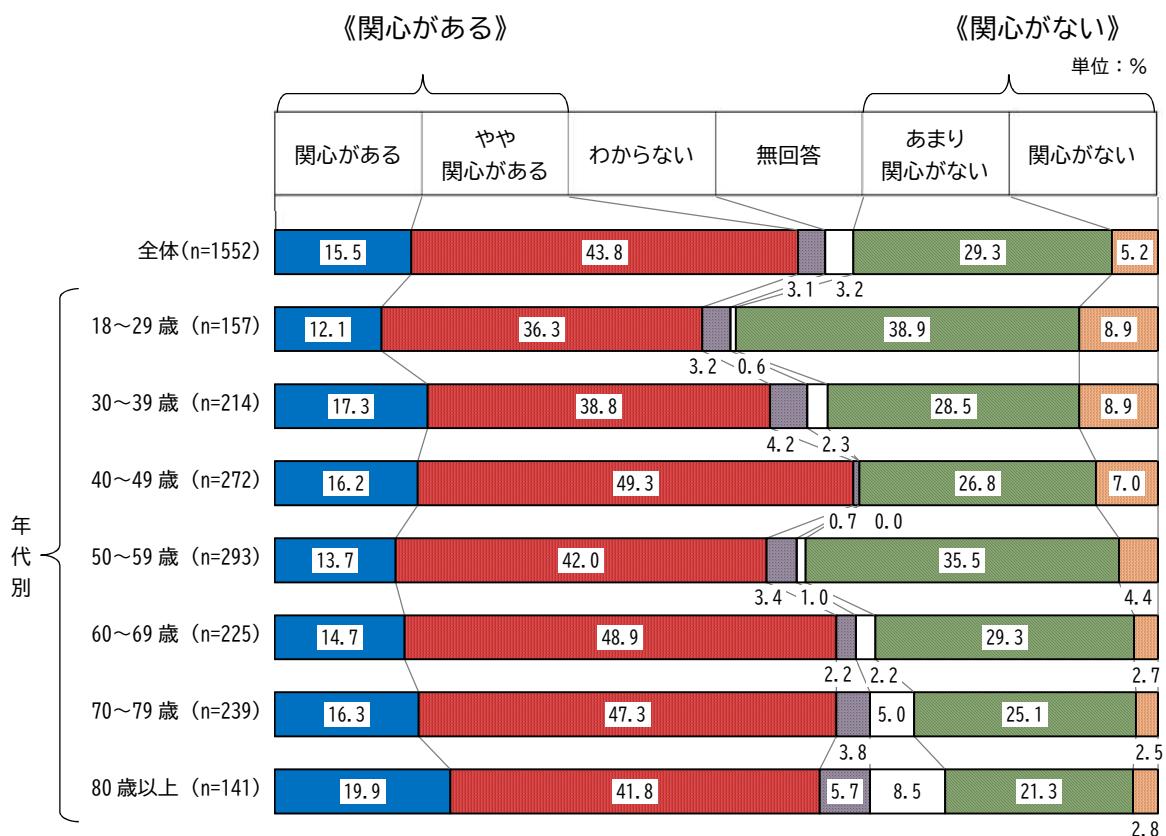
回答	関心がある	56.0
関心がある	16.1	
やや関心がある	39.9	
《関心がない》	28.7	36.1
関心がない	7.4	

※平成27年度調査

回答	関心がある	52.4
関心がある	18.0	
やや関心がある	34.4	
《関心がない》	29.4	36.7
関心がない	7.3	

年代別でみると、《関心がある》は40～49歳（65.5%）が6割を超え最も高く、次いで60～69歳と70～79歳（63.6%）が高くなっている。一方、《関心がない》は18～29歳（47.8%）が5割近くで最も高く、30～69歳が3割台と、70歳以上に比べ高くなっている。

区政への関心 年代別



設問：区が行っている事業のうち、「今後、特に力を入れてほしいと思うもの」を5つ選んでください。

経年比較すると、「地震・水害などの防災対策」は、令和元年度を除き、第1位となっている。「地域防犯の取組」は令和2年度以降第2位となっており、令和7年度（42.7%）が最も高くなっている。

単位：%

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位
令和7年	地震・水害などの防災対策 56.6	地域防犯の取組 42.7	子どもの安全対策 30.3	高齢者福祉の充実 19.0	幼児・児童の子育て支援の充実 17.1	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実 16.8	道路・交通網の整備 16.2
令和6年	地震・水害などの防災対策 62.4	地域防犯の取組 33.9	子どもの安全対策／高齢者福祉の充実 25.2		騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実 18.1	幼児・児童の子育て支援の充実 17.3	道路・交通網の整備 17.0
令和5年	地震・水害などの防災対策 59.9	地域防犯の取組 36.4	子どもの安全対策 31.1	高齢者福祉の充実 25.7	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実／幼児・児童の子育て支援の充実 19.7		道路・交通網の整備 18.9
令和4年	地震・水害などの防災対策 58.8	地域防犯の取組 31.0	高齢者福祉の充実 26.8	子どもの安全対策 23.0	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実 19.7	公園の整備充実・緑化の推進 18.3	幼児・児童の子育て支援の充実 15.3
令和3年	地震・水害などの防災対策 64.0	地域防犯の取組 32.8	子どもの安全対策 29.2	高齢者福祉の充実 27.1	幼児・児童の子育て支援の充実 18.1	感染症対策の充実 17.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実 17.0
令和2年	地震・水害などの防災対策 58.2	地域防犯の取組 31.2	感染症対策の充実 25.3	子どもの安全対策 24.7	高齢者福祉の充実 24.3	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実 19.7	幼児・児童の子育て支援の充実 17.7
令和元年	高齢者福祉の充実 35.8	地震などの防災対策 34.7	幼児・児童の子育て支援の充実 23.9	子どもの安全対策 19.2	地域防犯の取組 19.0	学校教育の充実 18.1	健康づくりなどの保健衛生施策の充実 17.3
平成30年	地震などの防災対策 37.6	高齢者福祉の充実 25.8	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実 24.3	地域防犯の取組 23.9	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進 23.3	幼児・児童の子育て支援の充実 21.6	道路・交通網の整備 19.5
平成29年	地震などの防災対策 31.0	高齢者福祉の充実 28.4	幼児・児童の子育て支援の充実 24.1	道路・交通網の整備 20.7	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実 20.5	地域防犯の取組 20.1	公園の整備充実・緑化の推進／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進 19.3
平成28年	地震などの防災対策 37.0	高齢者福祉の充実 31.7	幼児・児童の子育て支援の充実 24.9	地域防犯の取組 22.2	子どもの安全対策 20.4	公園の整備充実・緑化の推進 19.6	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実 19.0

ライフステージ別にみると、家族形成期、家族成長前期を除いたライフステージで「地震・水害などの防災対策」が第1位に挙げられている。家族形成期、家族成長前期では「子どもの安全対策」が第1位、「地震・水害などの防災対策」が第2位に挙げられている。

今後、区に力を入れてほしい事業（上位7位） ライフステージ別

単位：%

区分	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
全体	地震・水害などの防災対策	56.6	地域防犯の取組	42.7	子どもの安全対策	30.3	高齢者福祉の充実	19.0	幼児・児童の子育て支援の充実	17.1	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	16.8	道路・交通網の整備	16.2
家族形成期	子どもの安全対策	53.8	地震・水害などの防災対策	49.5	幼児・児童の子育て支援の充実	48.9	地域防犯の取組	41.4	学校教育の充実	20.4	公園の整備充実・緑化の推進	18.3	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	16.7
家族成長前期	子どもの安全対策	69.5	地震・水害などの防災対策	57.8	地域防犯の取組	46.1	学校教育の充実	38.3	幼児・児童の子育て支援の充実	32.0	公園の整備充実・緑化の推進	23.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	14.1
家族成長後期	地震・水害などの防災対策	57.3	地域防犯の取組	47.9	子どもの安全対策	36.8	学校教育の充実	20.5	幼児・児童の子育て支援の充実	19.7	道路・交通網の整備	18.8	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	13.7
家族成熟期	地震・水害などの防災対策	62.5	地域防犯の取組	47.3	子どもの安全対策	27.7	高齢者福祉の充実	21.4	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	20.5	道路・交通網の整備	18.8	低所得者に対する福祉の充実	14.3
高齢期	地震・水害などの防災対策	66.1	地域防犯の取組	41.9	高齢者福祉の充実	33.1	子どもの安全対策	27.1	道路・交通網の整備	17.4	バリアフリー化の推進	16.5	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	14.8
(一人高齢暮らし)	地震・水害などの防災対策	53.2	高齢者福祉の充実	40.4	地域防犯の取組	33.3	低所得者に対する福祉の充実	22.7	子どもの安全対策	17.0	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	14.9	バリアフリー化の推進	14.9
一人暮らし	地震・水害などの防災対策	52.7	地域防犯の取組	43.3	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	21.4	道路・交通網の整備	18.4	子どもの安全対策	17.4	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	13.4	低所得者に対する福祉の充実	13.4
その他	地震・水害などの防災対策	55.2	地域防犯の取組	42.9	高齢者福祉の充実	20.6	子どもの安全対策	19.5	騒音・ポイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	18.3	道路・交通網の整備	16.0	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	13.5

第50回 荒川区政世論調査 «概要版»

_____ 令和7年度 _____

令和8年1月発行

登録 (07) 0075
発行 荒川区区政広報部秘書課
東京都荒川区荒川 2-2-3
電話 03-3802-3111 (代表) 内線 2161